

#### 4. 情報処理科目

コンピュータ活用技術を身に付けることを目的とし、半期2単位で開講される。コンピュータの「方法とスキル」を修得することにより、基本的素養を身につけ、情報活用能力を自ら発展させることができるようにするものである。

授業科目名	開講学年	単位数	開講	履修方法	備考
コンピュータ技術演習（活用入門）	1	2	半期	選択	初心者向け入門授業
コンピュータ技術演習（メディア発信）	1	2	半期	選択	プレゼンテーション、ホームページ作成
コンピュータ技術演習（データ処理）	1	2	半期	選択	Excelを用いたデータ処理、グラフ作成
コンピュータ技術演習（シミュレーション）	1	2	半期	選択	プログラミング、理論の視覚化技術

- ※ 「コンピュータ技術演習」は、教員免許状取得に必要な「情報機器の操作」として充当することができるため、教職希望者は必ず履修しなくてはならない（経済学部は除く）。なお、（）内のテーマによらず、いずれの授業科目でも充当することができる。
- ※ 経済学部では、専門教育科目として同内容の「コンピュータと情報 A」が開講されているため、情報処理科目を履修することはできない。なお、教職希望者は「コンピュータと情報 A」を教員免許状取得に必要な「情報機器の操作」として充当することができる。
- ※ 「コンピュータ技術演習（活用入門）」以外は、コンピュータの基礎的な利用法について授業時に扱わないので、履修にあたっては注意すること。
- ※ 同一年度に、2科目4単位を超えて履修することはできない。
- ※ コンピュータ教室では台数に限りがあるため、事前登録により受講者数の制限を行う。

#### 5. キャリア形成支援科目

「生きること・働くこと」の意味、社会の変化と社会が求めている「人材」への理解、「自分発見」の重要性を学び、キャリア形成を考える際の問題提起をすることを目的とし、半期2単位で開講される。

授業科目名	開講学年	単位数	開講	履修方法	備考
キャリアデザイン <sup>※1</sup>	1	2	半期	義務・選択 <sup>※2</sup>	（）内のテーマが異なれば同一の授業科目名でも複数履修可 <sup>※3</sup>
インターンシップ I	1 <sup>※4</sup>	2	半期	選択	
インターンシップ II <sup>※5</sup>	2・3 <sup>※4</sup>	2 <sup>※6</sup>	半期	選択	

- ※1 法学部法律専攻では、専門教育科目として同内容の「キャリア・プランニング」が開講されているため、（）表記のない「キャリアデザイン」を履修することはできない。
- ※2 （）表記のない「キャリアデザイン」は、文学部では選択科目、法学部（法律専門職専攻、政治専攻）・経済学部・神道文化学部では1年次後期の履修が義務付けられている。なお、義務履修科目とは、単位修得の必要はないが履修を義務付けられた科目である。また、履修は一度限りであり、単位修得の有無に関わらず二度目の履修をすることはできない。
- ※3 「キャリアデザイン」及び「インターンシップ I」は「キャリアデザイン（話す力・聞く力を伸ばす）」「インターンシップ I（教育・専門職）」のように（）内でテーマが示される。ただし、（）表記のない「キャリアデザイン」は※1・2のとおり履修に関する制限があるので、注意すること。
- ※4 「インターンシップ I・II」は、4年次に履修することができない。
- ※5 「**インターンシップ II**」は、**現場で実習する科目です**。また、登録の手続きは、キャリアサポート課で行うため、詳細はキャリアサポート課で確認すること。
- ※6 「インターンシップ II」は、年次別履修制限の単位外として扱われる。